

1. 見学会、ウォーキングの会、懇親会のご案内

旧暦では今が大暑、暑中お見舞い申し上げます。会員の皆様におかれましては、ウナギやシジミ、さまざまに食養生されながら、ますますご壮健であられること、お慶び申し上げます。

さて、マスタースでは歴史と文化のモニュメントをめぐる見学会、自らの健康を守るウォーキングの会、それにグルメの懇親会を企画しました。旧交を温めるもよし、新しい交友を結ぶことももっとよし、奮ってご参加ください。

長善寺と竹鶴酒造見学会

(第 10 回広大マスタース例会)

日 時 8 月 3 1 日 (水) 12:00~17:00

集合場所 JR 山陽本線西条駅前タクシー乗場付近

見学地 日照山長善寺 (竹原市東野町甲 885)
竹鶴酒造 (竹原市本町 3-10-29)

見学地案内およびスケジュール 詳細は本紙第 2 頁を参照してください。

参加者 会員、家族、知人等

交通手段 会員の自家用車に分乗予定。

※出欠は、8 月 27 日 (土) までに E-mail 金田 skanata@hiroshima-u.ac.jp
またはハガキでご連絡ください。

第 1 回広大マスタース・ウォーキングの会

(第 11 回広大マスタース例会)

日 時 9 月 23 日 (金、秋分の日) 9:00~12:00

集合場所 広島大学教育学部 (北側) 芝生 (駐車場: 教育学部駐車場を利用)

目的 会員やご家族の健康づくりのため

コース 二神山 (ふたがみやま) およびその周辺 (初心者コース)

プログラムおよび携帯品等 詳細は本紙第 3 頁を参照してください。

参加者 会員、家族、知人等 (渡部 [mail:kazuwp@hiroshima-u.ac.jp](mailto:kazuwp@hiroshima-u.ac.jp))

※参加される方は、9 月 21 日 (水) までに、渡部までご連絡ください。

西条酒まつり・マスタース懇親会

東広島市が誇る全国的イベント西条酒まつりは、今年も 10 月 8 日 (土)、9 日 (日) の両日、JR 西条駅前周辺で開かれます。わがマスタースもその初日の夕べ、恒例の懇親会を開きます。ぜひご出席ください。

日 時 10 月 8 日 (土) 17 時 30 分~2 時間程度

場 所 ふく政 (西条岡町 6-5 TEL082-424-5700)

ホームページ(<http://fkweb.jp/profile.html>)

西条駅より旧山陽道沿いに西へ徒歩 5 分

会 費 5,000 円 {当日徴収}

出欠のご連絡は 10 月 4 日 (火) までにお願いします。(黒川 kurokawa@hiroshima-u.ac.jp)

<見学会説明>

長善寺と竹鶴酒造見学会（第10回広大マスターズ例会）

プログラムの詳細

日 時 8月31日（水）12：00～17：00

場 所 竹原市

会 費 1,000円（長善寺へのお布施として）

参加者 会員および家族、友人。なお、この案内は「広島大学マスターズ広島」の皆様にもお届けしています。

当日のスケジュール

12：00 JR 山陽本線西条駅前集合（昼食を済ませておいてください。）

出発（会員の自家用車に分乗して出かけます。）

13：00 日照山長善寺（浄土真宗本願寺派） 竹原市東野町甲 885

【解説 前住職 大内亮文師】

大阪石山寺に籠る一向宗門徒は既に元亀元（1570）年以来織田信長軍 10 万人に包囲され、兵糧攻めに苦しんでいました。天正 4（1576）年その大阪石山寺を救うため、教主顕如と毛利の要請に応じて、村上武吉を総大将とする三島村上の水軍は出船し、10 万石の米俵を見事送り届けました。そのとき出陣した船の舳先にかかげられた軍船旗が、長善寺に今も保存されています。縦 88cm・横 66cm の薄黄色の手織り木綿に「進者往生極楽 退者無間地獄」と記されています。またその翌年、尼崎砦で討ち死にした 19 名の戦死者の法名簿なども保存されています。

日照山長善寺は、建久年間（1190～99）竹原西野に天台宗、大内山長善庵として創建された名刹。その後何度かの火災等によって、そのたびに場所を替え、建て直されましたが、上記のものは寺宝として大切に保管されてきました。このたび、特にお願いで、私たちマスターズのために見せていただけることになりました。

14：00 頃 出発。竹原旧市内の町並み保存地区散策（30 分程度）

15：00 竹鶴酒造 竹原市本町 3-10-29

1733 年（享保 18）から続く蔵元で、ニッカウキスキーの創始者・竹鶴政孝氏の生家。蔵元内および資料館小笹屋を見学させていただきます。

【解説 杜氏 石川達也氏】

昭和 39 年東広島市西条町生まれ。大学在籍中に埼玉県蓮田市神亀酒造で 4 年間酒造りを学ぶ。郷里に帰り、平成 6 年竹鶴の蔵に入り、杜氏となる。伝統技術に込められた精神を見つめて発想した「放し飼いの酒造り」を標榜。RCC 放送等で活躍。

（『芸術新潮』2011. 6 月号に特別読物「なぜいま生酏（きもと）なのか」で石川氏の特集記事が掲載されている。）

17：00 現地解散（自動車に分乗して来られた方に支障のないように考えています。）

<ウォーキングの会説明>

第1回広大マスターズ・ウォーキングの会 (第11回広大マスターズ例会)

趣 旨 ウォーキングを通じて、会員の健康意識を高めるとともに、安全な歩行運動の方法を理解し、会員相互の親睦を深める。

プログラムの詳細

日 時 9月23日(金、秋分の日)
場 所 二神山(ふたがみやま)およびその周辺
会 費 無料(スポーツ保険加入費用は自己負担)
集合時間 9:00 / 解散時間 12:00
集合場所 広島大学教育学部(北側)芝生 (駐車場:教育学部駐車場をご利用ください。)

内 容 9:00~9:30 準備運動およびコースの説明
9:30 出発
10:30 頂上到達
11:00 下山開始
11:45 集合場所に終結、整理運動等
12:00 解散
オプション(自由参加)
12:15から 昼食会(700円)国際プラザ(昼食バイキング)
コース案内 西村行雄氏
準備体操 渡部和彦会員
諸 注 意 飲み物、装備(軽装備)は個人で準備しておいてほしい。小雨決行
連 絡 先 渡部和彦会員 TEL:082-423-9231 mail:kazuwp@hiroshima-u.ac.jp
申込み締切 9月21日(水)渡部まで

2. 広島大学の教育事業に本格的に参加しはじめました。

a) 平和科目「平和と人間A」終了しました

広島大学の教養教育科目(選択必修2単位)として今年度から始まった平和科目の中に、わがマスターズ(HM)は「平和と人間A-環境と生物の未来へ」(前期)と「平和と人間B-人間と文化の未来へ」(後期)を開設しました。「平和と人間A」には、広大マスターズ広島(HM広島)の植木研介氏に加わっていただき、松田正典、友田卓爾、安藤忠男、山本義雄、鈴木寛一、中川平介、平田敏文、松田治男、佐野進策、金田晋の10会員がオムニバス方式で担当しました。去る7月25日(月)、授業は終了し、8月1日(月)に期末試験を残すのみとなりました。受講学生数156名。

b) 留学生短期研修講座は今夏も行います

広島大学では、昨年夏期から留学生短期研修講座を開講しました。今年春期には、中国人学生を対象にした1クラスが開講されました。わがHMとHM広島の両マスターズは、浅原学長の意向を受けて、当講座中日本文化論1コマ、日本事情4コマを担当することになりました。春期は、わがHMのほうで引き受け、5名の会員（西川恭二、安藤忠男、有本章、井上宣邦、黒川正流）に出講をお願いしました。

夏期もまた1クラス（中国人学生のための）を開講します。今度はHM広島に講師を出してもらいます。当面各期1クラスなので、交互に講師陣を用意することを申し合わせています。

c) 日韓共同理工系学部留学生事業学部入学前予備教育にも参加します

HM、HM広島の両マスターズは、表記予備教育に講師を派遣することを、山根国際担当理事・副学長から要請されました。実施時期は毎年10月末から翌年3月まで。実施科目は4科目（数学、物理、化学、生物）で、週1コマ（90分）です。時間割は平和・国際室で決定されますが、授業の内容は両マスターズにまかされます。

今後、両マスターズは協議を重ね、講師陣を編成する作業に取り掛かる予定です。

3. 「初めてのフランス語」（平成23年度市民講座）は盛況でした

市民講座「初めてのフランス語」（6月13日、6月27日、7月11日、7月25日、計4回）が無事終了しました。受講者は26人（男性4人、女性22人）で、外国語学習のクラスとしては多いくらいでした。受講者の年齢層は見かけたところ、20歳代から70歳代までと幅広いようでした。年齢に関係なく学びたい人が集まっているということであり、市民講座がめざす生涯教育の実が上がっているという印象でした。

講義内容はビデオやCDを活用して簡単な会話や基本文を暗誦したり、教室で聞いた文法の説明を自分で整理し、講座終了後に自分一人でもどのように学んでいけばいいのかが分かってもらえることに主眼を置きました。やさしい童謡（「アヴィニョンの橋の上で」「フレール・ジャック」）も歌えるようになり、楽しく学んでいただきました。

この講座の続きとして、後期（2012年1～2月）に「旅のフランス語」が用意されているので、一人でも多くの方が続けて受講されることを期待しています。後期の「旅のフランス語」から始める人も歓迎です。（文責 原野 昇）



4. 「身のまわりの化学」(平成23年度市民講座)が始まりました

私たちが日常生活で出会う物質や身近な現象を取り上げて、「くらしの中の香り」、「洗剤の話」、「生理活性天然物の話」、「ひとと磁石」のテーマで分かりやすく解説します。

第1回は、既に終わりましたが、第2回以降はこれからです。ご関心のあるテーマがズラッと並んでいます。ぜひご参加ください。会場は、第1回～3回：東広島市市民文化センター研修室 サンスクエア 2F、第4回：東広島市中央公民館会議室です。

第1回：7月30日(土) 13:30～15:00

「くらしの中の香り」平田敏文(広島大学名誉教授)

“香り”は太古の時代に宗教的儀式に使われたのに端を発し、今では私たちの暮らしに無くてはならないものとなっている。本講座では、香りにまつわる文学や歴史の話を交えながら、「花や果物の香り」、「フレーバー」、「食品の香り」、「香水」、「アロマセラピー」などについて化学的な面から紹介する。

第2回：8月6日(土) 13:30～15:00

「洗剤の話」三吉克彦(広島大学名誉教授)

石ケンは、古代ローマ時代、神への供え物として羊を焼いた植物の灰が染み込んだ泥が、洗浄力を持つことが偶然見つかったことがその始まりと言われる。18世紀後半には本格的な石ケン製造が可能となり、人類の豊かで衛生的な生活が保証されるようになった。本講座では、ケンの洗浄作用を化学的に理解し、これに基づいて石ケンやその他の洗剤(重曹、クエン酸、漂白剤)の合理的な利用法を解説する。

第3回 8月20日(土) 13:30～15:00

「生理活性天然物の話」深宮齊彦(広島大学名誉教授)

動物、植物は生命活動の営みの中で様々な有機化合物を作っている。古来より人間は伝承薬のように自然界が作り出す様々な化合物を利用してきた。また、自然界にはフグ毒、毒キノコにみられるように人にとって有害となる化合物を含有するものもある。自然の中で生命が生み出す種々の化合物や生命現象と関わる分子など、分子と生物活性について紹介する。

第4回 8月27日(土) 13:30～15:00

「ひとと磁石」谷本能文(広島大学名誉教授)

紀元前十数世紀の中国で天然の磁石(磁鉄鉱)が発見されたといわれている。以来、ひとと磁石の間にはなが～い歴史があります。本講座では、ひとと磁石との関わりの歴史の一端に触れるとともに、磁気浮上・リニアモーターカーなど磁場にかかわる最新の話題を、簡単な実験やビデオを交えて紹介する。

5. 『ヨーロッパの昔と今ー酒からみるー』

(平成23年度市民講座)も始まります

時代により酒が果たす効用はどう違うのか。哲学・歴史学・文学の分野から中世ヨーロッパの事例をてがかりに昔と今をくらべてみましょう。人と酒とのつきあいは古くて長いのですが、主役は人あるいは酒? 会場は各回、東広島市市民文化センター研修室 サンスクエア 2Fです。

第1回：8月22日（月）13:30～15:00

「フランス中世文学にみる酒」原野 昇（広島大学名誉教授）

フランス中世文学のさまざまな作品のなかで描かれている酒を、宴会の場面、酒場の場面、飲み比べの場面など、具体的にみていきながら、酒がフランス中世文学のいろいろなジャンルの作品でとりあげられていることをみていきます。また、そのことを通して酒がフランス中世社会のあらゆる階層の人々の飲食生活のなかでいかに重要な地位を占めていたかをみま

第2回：8月29日（月）13:30～15:00

「酒の効用は変化するのか、なぜ？」山代宏道（広島大学名誉教授）

歴史上それぞれの時代で酒が果たした効用はちがっているのでしょうか。社会的あるいは個人的に人はなぜ酒を飲むのか、主として中世ヨーロッパの場合を手がかりにして、現在と比較検討してみましょう。個人的ストレスや苦しさを解消するために飲む酒、祝宴やカーニバルで飲まれる喜びの酒、これらは変わらない効用なのか。宗教的・経済的・心理的には人と酒との関係において時代差があっても当然だと考えられるのですが、さて？

第3回：9月5日（月）13:30～15:00

「酒と真理はどちらが強い」水田英実（広島大学名誉教授）

中世のパリ大学では毎年、復活祭と降誕祭に会場で即席の課題を募って公開討論が行われた。スコラ哲学の大御所として知られるトマス・アクィナスが主催した討論会の記録が残っている。1270年のクリスマス討論で取り上げることになったのは、真理は酒よりも国王よりもそして女よりも強いのか。容易に收拾がつきそうにないこの討論をトマス教授がどう総括するか。会場を埋め尽くした聴衆は興味津々である。さて酒と真理はどちらが強い。

第4回：9月12日（月）13:30～15:00

「ドイツ中世文学にみる酒」岡崎忠弘（広島大学名誉教授）

ドイツの英雄叙事詩『ニーベルンゲンの歌』（1203年ごろ成立）に出てくる、のどの渇きをしずめる飲み物は、葡萄酒と蜜酒、それに泉の清水と戦死者の血である。奇妙なことに、ビールは登場しない。主役は葡萄酒である。とは言え、常時飲まれるわけではない。葡萄酒は、もとより祝宴には欠かせないが、この「祝い酒」としての側面のほかに、筋の大きな転換の場面であげられる乾杯、言わば「固めの杯」にも盛られ、神聖視されている。

6. 「親子で楽しむ龍王島探検」

（平成23年度市民講座）は楽しそうです

東広島市の子供たちのために長くつづけてきた「野っばら探検講座」シリーズはずいぶん好評でした。今回の企画はその第2バージョンです。やはり楽しそうです。もちろん私たち老人のための企画ではありませんが、たとえばボランティアになりたいと申し出られてはいかがですか。

募集要項は、次のとおりです。

募集人数： 保護者と子供 15組

参加費： 1回1名につき 2,300円（渡船料、入島料、昼食代、保険料、他）

集合場所： 安芸津町風早棧橋に集合

集合時間： 午前9時30分

第1回「龍王島の動物・植物探検」 西村清巳（広島大学名誉教授）

島には、一見内陸と変わらない動物・植物が生息しています。しかし良く見ると、長い間厳しい自然にさらされて、島の環境に適した姿に変容していたりします。中には、万葉集に詠まれた植物も多く、ひょっとして万葉人が島に上陸して歌を1句ものにしていたかもしれません。

龍王島を知り尽くし、海岸性の植物・海藻類を使ったヘルシーな昼食を作って楽しみましょう。

日時： 9月11日(日) 9:30 風早港栈橋集合

日程： 10:00~11:30 龍王島探検

11:30~13:30 昼食作り・昼食、片付け

13:30~14:30 万葉植物ウォークラリー

14:30 龍王島出発

15:00 風早港栈橋解散

携行品・服装： 運動靴、軍手、水筒、雨合羽、帽子、筆記用具、長袖・長ズボン

協力： 広島大学水産増殖学研究室 学生

* 少雨決行

第2回「龍王島の磯の生き物」 中川平介（広島大学名誉教授）

合併によって東広島市にも海ができました。海には食卓で見る生き物以外にも沢山の生き物がいます。この探検で海の生き物に興味があれば幸いです。

日時： 9月25日(日) 9時30分 風早港集合

日程： 10:00~11:30 龍王島海岸で魚釣、磯採集

11:30~13:30 魚の調理、昼食、片付け

13:30~14:30 生物観察、磯のゴミ拾い

14:30 龍王島出発

15:00 風早港栈橋解散

携行品・服装： 濡れてもいい靴、軍手、水筒、雨合羽、帽子、筆記用具、長袖・長ズボン、濡れた場合の着替え、釣をする人は釣道具（釣竿、釣り餌は用意します）

協力： 広島大学水産増殖学研究室 学生

* 少雨決行、干潮 14時15分。

7. 「平成23年度TSS文化大学教養講座」

(広大マスターズプログラム「学問の散歩道シリーズ2」)

平成20年度から、広大マスターズの会員はTSS文化大学の要請を受けて、教養講座に出演してきました。本年度も「学問の散歩道シリーズ2」というプログラムで行われています。既に第4話までは終了していますが、第5話以降には聴講が可能です。ご参加ください。

第1話 4月26日：万葉の植物たち 西村清巳（広大名誉教授）

第2話 5月17日：やさしい経済学：人間と経済 佐野進策（広大名誉教授）

第3話 6月21日：くらしの中の無線 井上宣邦（広島工業会専務理事）

- 第4話 7月12日：エネルギーと環境 菊池義弘（広大名誉教授）
第5話 9月20日：法然と親鸞 松田正典（広大名誉教授）
第6話 10月18日：百人一首の愉しみ方 西川恭治（広大名誉教授）
第7話 11月15日：三国志：南京見聞記 小尾孟夫（広大名誉教授）
第8話 12月20日：生命を活性化する物質 平田敏文（広大名誉教授）
第9話 1月17日：中・高年の健康保持と運動実践 渡部和彦（広大名誉教授）
第10話 2月21日：分子の世界 塩谷優（広大名誉教授）
第11話 3月13日：ドレミの科学 小方厚（広大名誉教授）

8. “学問の散歩道”の進む道

広島大学マスターズの一般市民向けホームページ瓦版に“学問の散歩道”が登場して早くも1年余りになる。幸いマスターズ会員の協力を得てこれまで13編の“読みもの”が掲載され、好評である。今日は、この“学問の散歩道”を振り返り、今後の展望を述べてみたい。

この企画のきっかけはTSS文化大学一般教養講座である。平成20年4月から2年間、広大マスターズ会員11名がこの講座の“農業・環境”シリーズを毎月1回担当した。各講演の概要はマスターズHP瓦版でも紹介してきたが、1ページ足らずの紙幅では講演内容を具体的に示すのは難しかった。

平成22年4月から“学問の散歩道”なる新シリーズを始めた。このシリーズでは、様々な分野のマスターズ会員に学問の「本通り」の話はわかりやすく、「横道」で見つけた興味深い事象や「脇道」の趣味等の話は面白く語ってもらうようお願いした。マスターズ会員の案内する“学問の世界”を受講生に気軽に散策してもらおうという趣旨である。

いずれの講演も興味深く、TSS文化大学受講生だけに留めておくのは惜しい内容である。そこで、演者に講演内容を様式や長さを問わない読み物にまとめてもらい、HP担当の太田安英幹事の手をわずらわせてマスターズHPで公開することにしたのである。太田幹事からの情報によると“学問の散歩道”にはこれまで合計千数百回以上のアクセスがあったという。

さらに賑わう“学問の散歩道”にするにはどうしたらよいただろう？会員の活動に関わる“読み物”を広く掲載するサイトに拡大する、サイトの読者との交流も図れる双方向の場を作る、なども有効かもしれない。太田幹事と協議しながら今後の展開方法を検討したいので、“学問の散歩道の進むべき道”について会員諸賢のご意見をぜひお寄せいただきたい。

TSS文化大学担当幹事 安藤忠男 (tadando@hiroshima-u.ac.jp)

【広大マスターズ連絡先】

広島大学マスターズ事務局

〒739-0043 東広島市西条西本町 28-6 サンスクエア東広島 3F

広島大学サテライトオフィス内

Eメール：masters@hiroshima-u.ac.jp